

立野ダム建設事業の概要 ダム名称変更について

令和6年 2月

九州地方整備局
立野ダム工事事務所

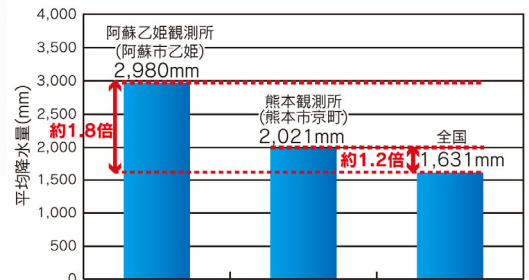
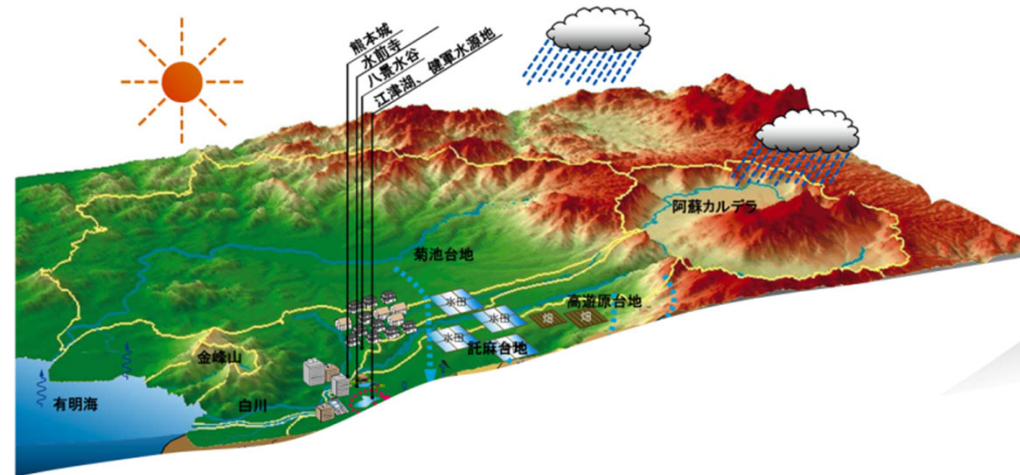
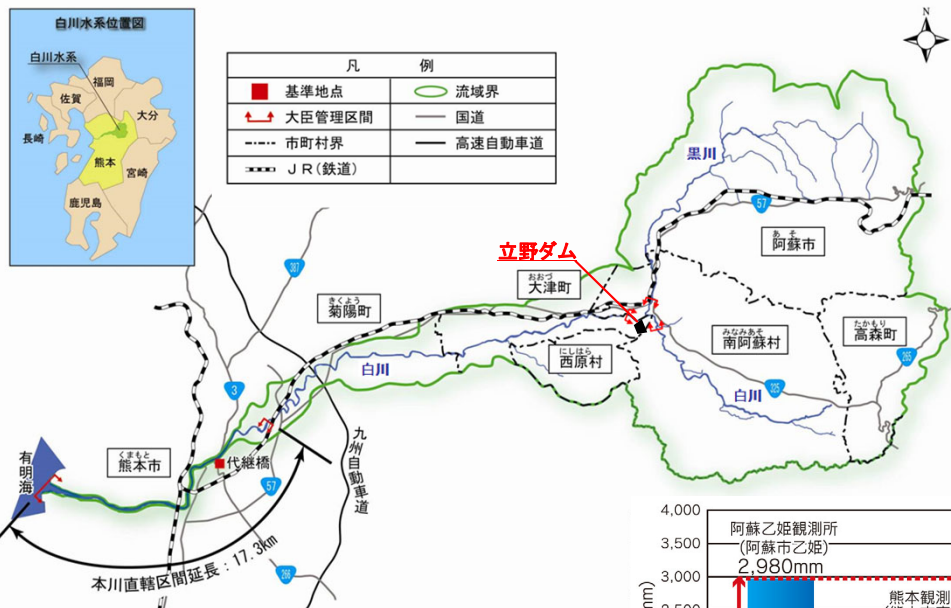


国土交通省

九州地方整備局

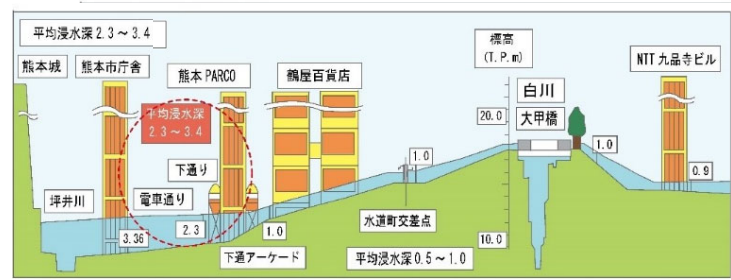
白川流域の概要

- 白川は、流域面積480km²、幹川流路延長74kmであり、流域の8割は、降雨量が多い阿蘇カルデラが占める。
- 降雨量は、全国平均に比べて熊本で約1.2倍、阿蘇で約1.8倍と多い。
- 下流は、九州第3の都市「熊本市」の中心部を流下しており、氾濫した場合の被害が広範囲に及ぶ。
- 上流の阿蘇地域は全域が「阿蘇・くじゅう国立公園」に指定されるなど雄大な阿蘇の景観が特徴となっている。

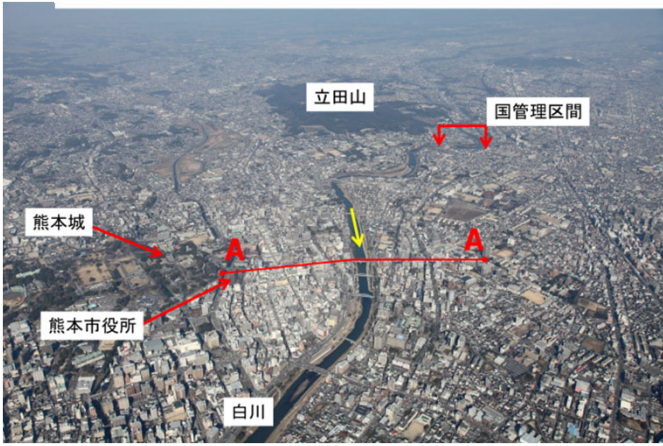


出典：阿蘇地方・熊本市の平均：気象庁HP 期間2001年～2020年
全国の平均：気象庁HP 全国51地点の平均値 期間2001年～2020年
年平均降水量の比較

白川の断面と昭和28年の水害の水位



水源地	熊本県阿蘇郡高森町根子岳 (標高1,433m)
流域面積	480 km ²
長さ	74 km
直轄管理区間	21.7 km
流域市町村	熊本市、阿蘇市、菊陽町、大津町、高森町、西原村、南阿蘇村 (2市3町2村)
流域内人口	約13.5万人 (河川現況調査：調査基準年H22)
想定はん濫区域面積	約136.4 km ² (河川現況調査：調査基準年H22)
想定はん濫区域内人口	約31.4万人 (河川現況調査：調査基準年H22)

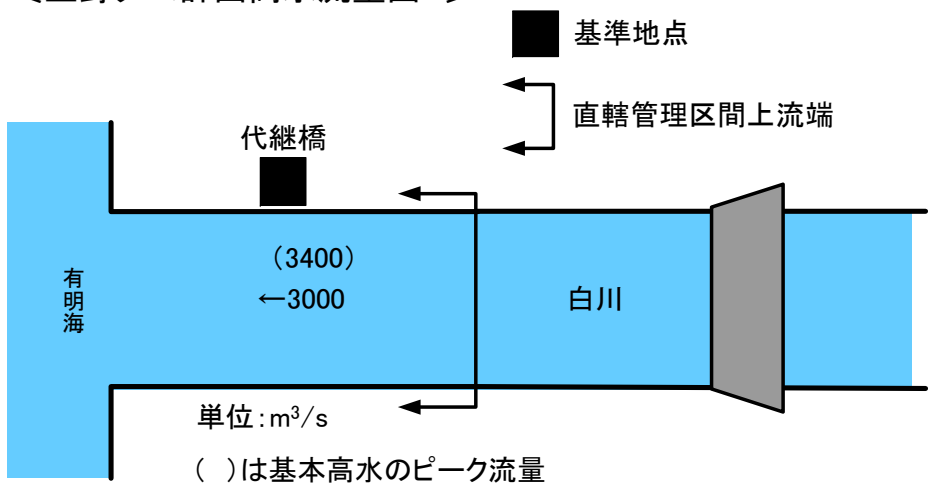


立野ダムの概要

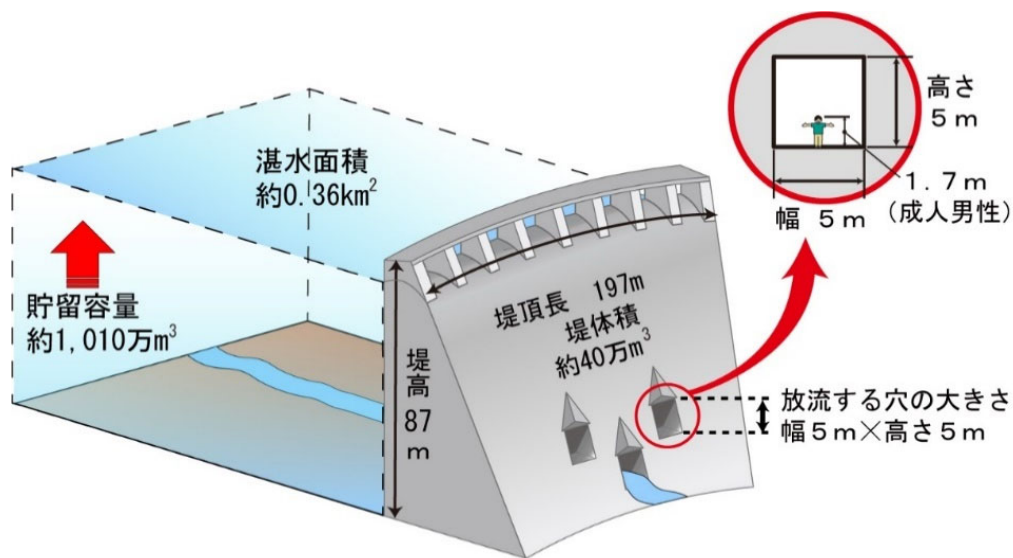
よつぎばし

○基準地点(代継橋)における基本高水のピーク流量 $3,400\text{m}^3/\text{s}$ を、立野ダムにより $400\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い、計画高水流量 $3,000\text{m}^3/\text{s}$ に低減し、洪水被害の防止又は軽減を図ることとしている。

〔立野ダム計画高水流量図〕



〔立野ダム貯水池容量配分図〕



〔事業諸元〕

型式: 曲線重力式コンクリートダム
高さ: 87m
堤頂長: 197m
総貯水容量: 約 $10,100\text{万}\text{m}^3$

事業費: 約 $1,270\text{億円}$
工期: 令和5年度

〔事業の経緯〕

- ・昭和54年 4月 実施計画調査着手
- ・昭和58年 4月 建設事業着手
- ・昭和59年 9月 損失補償基準妥結(宅地・建物)
- ・平成 元年 5月 損失補償基準妥結(農地・山林)
- ・平成12年12月 白川水系河川整備基本方針策定
- ・平成14年 7月 白川水系河川整備計画策定
- ・平成22年12月 立野ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場
- ・平成24年12月 立野ダムのダム事業の検証に関する国土交通省の対応方針決定(事業継続)
- ・平成26年11月 仮排水トンネル工事着工
- ・平成28年 4月 熊本地震の発生
- ・平成28年7月～8月 「立野ダム建設に係る技術委員会」の開催
- ・平成30年 2月 立野ダム建設(一期)工事契約
- ・平成30年 3月 仮排水路トンネル完成
- ・平成30年 8月 立野ダム建設工事起工式
- ・令和 2年 1月 白川水系河川整備計画(変更)策定
- ・令和 2年10月 ダム本体コンクリート打設開始
- ・令和 3年 5月 立野ダム「定礎」
- ・令和 5年 5月 本体コンクリート打設完了
- ・令和 6年 1月 試験湛水開始

立野ダム本体工事(上流より下流を望む)



ダム堤体

工事用設備撤去

流木等捕捉施設

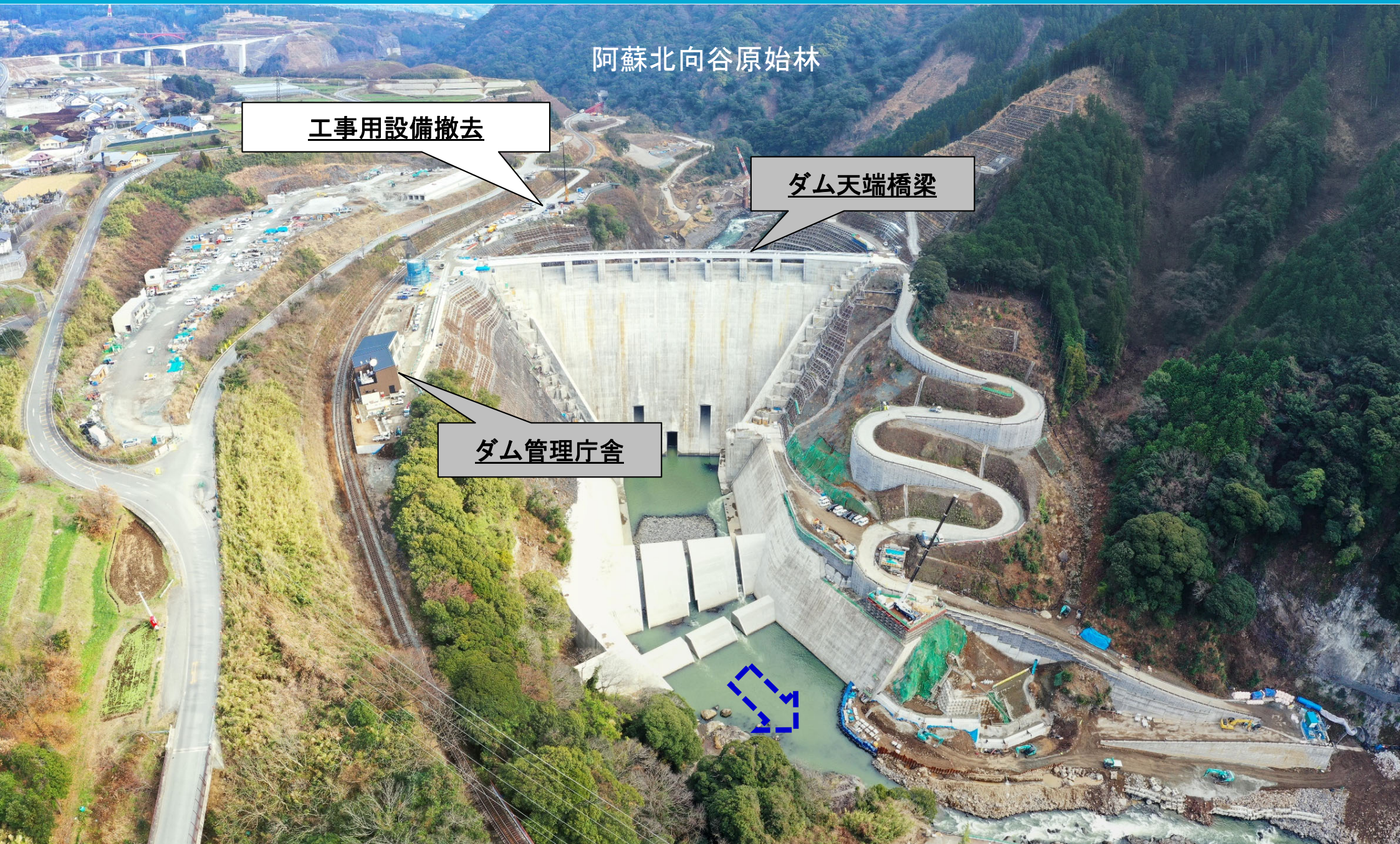
仮排水トンネル



白川

(令和5年12月末撮影)

立野ダム本体工事(下流より上流を望む)



阿蘇地域の特性

- 阿蘇地域は九州の中心に位置し、観光地として多くの人々が訪れる地域であり、豊かな自然環境をはじめ多様な歴史、文化、多くの観光施設等の地域資源がある。
- 一方で活火山の阿蘇山を擁する地域であり、降水量が多く自然災害のリスクも高い地域である。
- 阿蘇地域の特性に関連したダムの役割や機能を活かして、立野ダムが阿蘇地域の未来をつなぐ役割を果たす名称を提案したい。



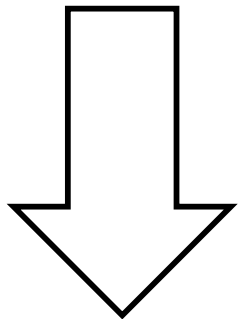
立野ダム名称変更について(案)

1. 背景

- 立野ダム完成後、阿蘇地域の新たな観光資源として立野ダムの名を日本全国、更には世界に知っていただけるよう「阿蘇」の名を添え「阿蘇立野ダム」に名称変更してほしい旨の要望をいただいているところである。

2. これまでの経緯

- 令和5年 3月 阿蘇郡市立野ダム流域市町村よりダム名称の変更に関する要望書を立野ダム工事事務所へ提出
- 令和5年 8月 白川改修・立野ダム建設促進期成会からダム名称を「阿蘇立野ダム」に変更することで国土交通省へ要望書を提出



地域の意向等を適切に判断することとして、意見を頂く場としても設置されている白川・緑川学識者懇談会の中で、名称変更について意見を頂きたい
(令和6年2月)

『阿蘇立野ダム』 ※学識者懇談会の意見を踏まえ国土交通省にて名称決定

立野ダム名称変更について(案)

3. 提案理由

- ① 南阿蘇村においては、阿蘇の観光資源と立野ダムを連動させた観光商品の具体化やインフラツアーを商品化し、地域振興に資する様々な取り組みを継続的に実施している。
- ② 立野ダムが位置する立野火口瀬付近は、阿蘇カルデラの玄関口にあたり、雄大で魅力ある自然環境や多様な地域資源を広く利用することで更なる立野ダム流域の発展が期待できる。
- ③ 阿蘇地域の新たな観光資源として直轄事業初の流水型ダムである立野ダムに「阿蘇」の名を添え、「阿蘇立野ダム」とすることでの位置と名称が広く認知される。

以上のことから『阿蘇立野ダム』に名称変更することを提案する。

